

雑 報

地震・火山および津波に関する 気象庁職員著作目録 (1972年)

List of Contributions from J. M. A. on Earthquakes, Volcanoes and Tsunamis (1972)

- 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台・名瀬測候所：1970年の奄美大島付近の地震活動，験震時報，37，25-32.
- 福岡管区気象台観測課：震度の観測について（付国鉄の地震指示警報器），福岡技術通信，18，305-308.
- 函館海洋気象台：渡島大島火山現地調査報告，験震時報，37，73-77.
- 浜松音蔵：等 P 差線表示器の利用と作動状況，東北技術だより，60，21-32.
- 橋本春次：時報受信について，福岡技術通信，18，209-210.
- 広森章：磁気テープ式地震計の最大振幅から地震の規模（ M ）を求めるための検討，福岡技術通信，18，339-348.
- Ichikawa M., H. N. Srivastava and J. Drakopoulos: Focal Mechanism of Earthquakes Occurring in and around the Himalayan and Burmese Mountain Belts, Pap. Met. Geophys., 23, 149-162.
- 稲垣豊秋・植屋清：1965年1月から1970年6月までの阿蘇山における異常現象について，験震時報，37，103-112.
- 稲垣豊秋：最近の阿蘇火山活動と防災の問題点，福岡技術通信，18，11-18.
- 勝又護：地震動の最大加速度の推定，験震時報，37，79-87.
- 勝又護：大・中・小地震に関連する分野の展望——気象庁の地震観測を中心に——，地震予知研究シンポジウム，55-60.
- 勝又護：震央付近の地震動の諸要素，東管技術ニュース，28，27-35.
- 木村耕三：震度計開発の必要性，測候時報，39，377-379.
- 木下正時：桜島火山活動の考察（その7）火山性地震と爆発現象について，福岡技術通信，18，201-207.
- 気象庁：秋田駒ヶ岳噴火活動調査報告（1970年9月～1971年1月），気象庁技術報告，第79号.
- 気象庁地震課：磁気テープ記録式電磁地震観測装置，測候時報，39，295-304.
- 気象庁地震課：1971年9月6日の樺太南岸沖の地震と津波，験震時報，37，33-37.
- 気象庁地震課：岩手火山の調査報告（1970），験震時報，37，55-71.
- 気象庁地震課：1972（昭和47）年2月29八丈島東方沖の地震，験震時報，37，97-101.
- 気象庁地震課：気象庁地震観測官署の地盤調査，験震時報，37，113-115.
- 気象庁地震活動検測センター：関東南部の歴史的地震の調査，地震予知連絡会会報，7，32-34.
- 気象庁地震活動検測センター：東京・横浜で観測した震度 V 以上の地震について，地震予知連絡会会報，7，35.
- 気象庁地震活動検測センター：日本付近の放出エネルギーの変動について，地震予知連絡会会報，7，55-56.
- 気象庁地震活動検測センター：特定観測地域・観測強化地域の地震の放出エネルギー分布図，地震予知連絡会会報，7，57-59.
- 気象庁地震活動検測センター：関東南部（主として相模トラフ周辺）の地震活動について，地震予知連絡会会報，8，42-43.
- 気象庁地震活動検測センター：1972年4月23日——30日の群馬県北部の鳴動について，地震予知連絡会会報，8，44-45.
- 気象庁地震活動検測センター：1972年2月29日の八丈島近海の地震について，地震予知連絡会会報，8，54-59.
- 気象庁地震活動検測センター：1921年以後の日本付近の大型地震の変動，地震予知連絡会会報，8，97-98.
- 気象庁地震観測所：松代群発地震の近況，地震予知連絡会会報，7，38-40.

- 気象研究所地震研究部：日本付近の地震活動分布図——特に無感地震帯の分布について——，気象庁技術報告，第81号。
- 気象測器工場（小野崎誠一）：一倍強震計用電動式起動機（改良型），測候時報，39，60-61。
- 気象測器工場（小野崎誠一・岡正康・川上保・渡辺幸一）：地震計用起動器の振動試験，測候時報，39，111-113。
- 木沢綏：1970-1971，秋田駒ヶ岳の活動機構と煙環現象，気象研究所研究報告，23，135-147。
- 木沢綏・田中康裕：伊豆大島三原火口の地形測量，気象研究所研究報告，23，411-428。
- 来栖喜久男：桜島における地磁気特性(I)，地磁気観測所技術報告，12，67-81。
- 三浦照夫・湯村哲男，北海道地方の震度特性について，験震時報，37，39-47。
- 森俊雄・大地洗：根室沖地震予知試験観測(I)，地磁気観測所技術報告，12，106-122。
- 永井正男・永野哲郎：霧島火山周辺における磁気測量，地磁気観測所要報，15，47-61。
- 長宗留男：実体波から求められる大地震のマグニチュード，験震時報，37，1-8。
- 永野哲郎：桜島における測点の全磁力傾度について，地磁気観測所技術報告，12，26-37。
- 名古屋地方気象台：1倍強震計用防塵カバー，東管技術ニュース，23，35-36。
- Nakayama M. : On the PCM-FS-FM tide telemetering system for warning of tsunamis and storm surges, *Oceanographical Magazine*, 23, 59-67.
- 大野栄寿：山形の磁気テープ記録式電磁地震計で記録された地震について，東北技術だより，62，133-136。
- 大野栄寿・岡崎信夫：吾妻火山の最近の活動状況について，東北技術だより，60，13-20。
- 坂本琢磨：津波予報のための基礎調査(I)，福岡技術通信，18，129-135。
- 坂本琢磨：津波予報のための基礎調査(II)，福岡技術通信，18，145-154。
- 坂本琢磨：津波予報のための基礎調査(III)，福岡技術通信，18，183-192。
- 坂本琢磨：津波予報のための基礎調査(IV)，福岡技術通信，18，193-200。
- 坂本琢磨：津波予報のための基礎調査(V)，福岡技術通信，18，237-243。
- 坂下三郎：宮古湾の津波，研究時報，24，7-12。
- 札幌管区気象台・帯広測候所：67型地震観測装置の低温対策，札幌技術時報，78，46-47。
- 佐藤久：「地震津波資料集」の追録について，大阪技術情報 3，24-26。
- 関谷溥：群発性地震と地震予知，地震予知研究シンポジウム，67-75。
- 関谷溥：関東甲信地方の群発地震について，東管技術ニュース，28，5-15。
- 関谷溥 涌井仙一郎：大地震前後の地震活動(III) (1944年東南海地震・1945年南海道地震)，地震予知連絡学会報，7，50-54。
- 仙台管区気象台：東北地方に展開した磁気テープ記録式地震観測装置に関する諸調査，験震時報，37，135-165。
- 柴田武男・竹山一郎・関彰：地震波形の周波数分析，験震時報，37，117-123。
- 新柵信夫：東北地方の群発地震，東北技術だより，61，33-41。
- Takagi S. : Do Earthquakes Occur due to Stress?, *Pap. Met. Geophys.* 23, 1-19.
- 高木聖：震度は加速度ではない(震度の人体実験)，気象研究所研究報告，23，215-223。
- 高木聖：震度の観測について，測候時報，39，371-376。
- 高野鉄夫・久本壮一：1971年9月6日サハリン南西沖地震の走時解析と北海道北西部の地殻構造上の考察，地震，II，25，353-361。
- 竹山一郎・柴田武男・関彰・佐藤馨：地震波形の処理に関する研究(I)——地震動の水平・上下成分の乗算による解析——，気象研究所研究報告，23，361-379。
- 竹山一郎・柴田武男・関彰・佐藤馨：地震波形の処理に関する研究(II)——ベクトル軌跡による解析(I)——，気象研究所研究報告，23，381-394。
- 竹山一郎・柴田武男・関彰・佐藤馨：地震波形の処理に関する研究(III)——ベクトル軌跡による解析(II)——，気象研究所研究報告，23，395-410。
- Watanabe H. : Statistical Studies on the Wave-form and Maximum Height of Large Tsunamis, *Jour. Oceanograph. Soci. Japan*, 28, 229-241.
- 渡辺偉夫：大津波の波形と最大波高について，験震時報，37，9-23。
- 渡辺偉夫：日本海およびその周辺で起った地震と津波——日本海の成因——，東管技術ニュース，28，16-26。
- 山岸登：松代で観測された PL_{22} 波の解析，験震時報，37，125-134。

山岸登・斎藤進・末広重二：松代地震観測所の Detection Capability について，気象研究所研究報告，23，197-213.

山岸登・吉井敏尅：日本における *PL* 波の減衰，地震，II，25，302-309.

Yamakawa N. : Aftershocks and Focal Mechanisms of Main Shocks, Geophys. Mag., 36, 15-30.

Yamakawa N. and Kishio M. : Aftershocks of the Tokachi-oki Earthquake of 1968 (I)——Relation between the Aftershock Activity and the Focal Mechanism of the Main Shock——, Geophys. Mag., 36, 1-13.

Yamakawa N., Kishio M. and Maeda I. : Aftershocks

of the Tokachi-oki Earthquake of 1968(II)——Spatial and Temporal Distributions of the Aftershocks and the Focal Mechanisms of the Main Shocks and Major Aftershocks, Geophys. Mag., 36, 53-73.

山本雅博：1972年2月29日八丈島東方沖地震について 2, 3の考察，験震時報，37，89-96.

柳原一夫：関東地方における電気伝導度異常の経年変化，地震予知連絡会会報，8，37-41.

柳原一夫：地磁気観測と地震予知，地震予知研究シンポジウム，3-6.

吉田弘：磁気テープ記録式電磁地震計による地震のマグニチュードの決定，験震時報，37，49-54.